

〒101-0051 千代田区神田神保町 1-3-5 富山房ビル6階 TEL : 03-5244-5975

FAX: 03-5244-5976

『いばらき原発県民投票』

——議会審議を検証する——

佐藤嘉幸・徳田太郎編

本体1,000円＋税 A5判 118頁

ISBN: 978-4-924671-47-8

社会学者・宮台真司氏推薦！

「民主主義を支えるのは個人ではない。地域共同体だ。地域共同体が、知的にも感情的にも個人を育て、初めて個人が投票する民主政治が健全になる。だが既に空洞化した地域共同体をどうすべきか。答えは、住民投票と、そのための熟議だ。地方議会の出鱈目さを知れば、とても任せて置けないと思うはずだ。本書を読めば全てが分かるだろう。」

「原発都民投票条例の制定を求める住民直接請求」元請求代表人
「みんなで決めよう『原発』国民投票」元共同代表
社会学者・宮台真司

いばらき原発 県民投票

——議会審議を検証する——

佐藤 嘉幸
徳田 太郎 編

民主主義を支えるのは個人ではない。地域共同体だ。地域共同体が、知的にも感情的にも個人を育て、初めて個人が投票する民主政治が健全になる。だが既に空洞化した地域共同体をどうすべきか。答えは、住民投票と、そのための熟議だ。地方議会の出鱈目さを知れば、とても任せて置けないと思うはずだ。本書を読めば全てが分かるだろう。

「原発都民投票条例の制定を求める住民直接請求」元請求代表人
「みんなで決めよう『原発』国民投票」元共同代表
社会学者・宮台真司

いばらき原発県民投票の会は、東海第二原発(茨城県東海村)の再稼働の是非に関する県民投票を実現し、県民一人ひとりが自分自身の意思を表明できるようにすることを目指す団体である。再稼働や県民投票について一人ひとりが考え、話し合う過程を重視し、カフェやフェスを開催して議論を積み重ねている。

2020年5月、8万6703筆に及ぶ茨城県民の署名を得て、「東海第二発電所の再稼働の賛否を問う県民投票条例案」の制定を求める直接請求を県議会に行ったが、同年6月に否決された。そこでの審議過程の問題点、県民投票運動の意義を検討するとともに、そもそも議論とは何か、間接=代表制民主主義の盲点、日本の原子力政策の実態についても考察する。

◆編者略歴

佐藤嘉幸 1971年生まれ。筑波大学人文社会系准教授。パリ第10大学博士(哲学)。著書に『権力と抵抗』、『三つの革命——ドゥルーズ=ガタリの政治哲学』(廣瀬純との共著)など。

徳田太郎 1972年生まれ。ファシリテーター、元いばらき原発県民投票の会共同代表。法政大学大学院公共政策研究科修了。修士(公共政策学)。近刊に『ソーシャル・ファシリテーション』(鈴木まり子との共著)。

◆◆事前予約受付中！【2月3日(水)受注締切】◆◆

FAX : 03-5244-5976 もしくは電話 : 03-5244-5975 まで

電子メールでのお問い合わせ、ご発注も受け付けております。 info@dokushojin.co.jp

番線印	株式会社読書人受注短冊		ご注文数
	いばらき原発県民投票 ——議会審議を検証する 佐藤嘉幸・徳田太郎編		冊
	本体 : 1,000円＋税 ISBN:978-4-924671-47-8		
	電話番号	— —	
	FAX	— —	
	ご担当者様名		

FAX 03-5244-5976 までご予約お待ちしております！